


東京医科大学 看護同窓会 紅苑便り

発行者
 名称 東京医科大学看護同窓会
 〒160-8402 新宿区新宿 6-1-1
 東京医科大学教育部看護学科学務課
 TEL 03-3351-6141 内線 703
<http://www.touikan.com/>
 印刷 集  同窓会事務局
 発行日 2019年2月末日
 (年1回発行)



東京医科大学 新大学病院パース図

Topics

会長挨拶	2 p
役員就任	3 p
昇進	4 p
幹事会開催のお知らせ	6 p
近況報告	7 p
看護学生近況	10 p
会計報告・寄付者芳名	11 p
同封物の見方・編集後記 他	12 p

会長挨拶



ご挨拶

同窓会会長

石塚 睦子 本科12回生



同窓生の皆様、こんにちは。この度、本科3回生の有本キヨ子会長様に引き続き、会長の役を引き受けることとなりました昭和53年卒12回生の石塚です。

近年、日本の様々な土地で自然災害が続いておりますが、全国各地で生活されている同窓生の皆様への影響はいかがでしょうか。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

現在、西新宿では青梅街道沿いに新病院が完成間近な姿を見せております。その横に控えている昭和61年に建設された病院は早30年余を経過し、看護教育50年、医学部100周年を迎えた東医大に月日の流れを感じる今日この頃ですが、一方、マスコミでは東京医大の問題が報道されました。関係する一員として、倫理的側面から問い直しが必要な部分については受け止め、解決されていくことを願うと共に、東京医大の力を信じて応援していきたいと思っております。

さて、東医大看護基礎教育のスタートは、昭和21年～26年の大久保キャンパス内の東京女子保健学院（東京医科大学八十年史にその名称が掲載されていますが、詳細は不明です）でした。その後、昭和32年～40年東京医科大学病院附属准看護婦学校ができ、東京オリンピックの開催された昭和39年には、3年課程の東京医科大学附属高等看護学校が開校され、そこは昭和53年に東京医科大学看護専門学校に改称されました。私達12回生が卒業した年でした。日本で数多い看護専門学校で12校しかないという文科省系列の専門学校であったわけです。1990年、本多輝男校長先生と教務主任

の福岡笑子先生の時代に『東京医科大学看護専門学校紀要』の初刊が刊行されましたが、当時の日本の看護専門学校で紀要を発刊しているのは東医大の看護のみでした。その後、専門学校は50回生で幕を閉じることになりました。途中には、進学課程の別科生が5回生まで、そして、夜間過程のⅡ部、後の進学科の学生さんが10回生まで学び、本科1回生の頃に多数を占めていた准看護婦さん達が看護師へとなくなりました。そして、日本に200校もの看護系大学ができた頃、遅ればせに2013（平成25）年4月、東医大に医学部看護学科が設立され、東医大の看護基礎教育が大きな節目を迎えました。そして、看護同窓会が今後も引き継がれていったことは、喜ばしい出来事だったと思います。

現在の同窓生数は、名簿管理を委託している株式会社同窓会事務局様に確認しましたところ、別科生193名、進学科生281名、看護科（前本科）生3379名、医学部看護学科1・2期生180名の総勢4033名（物故者、住所不明者も含みます）になりました。

東医大で学び、大切な友人・知人を得、多くの先生や関係方々と協力し、看護学の変遷を肌で感じながら、学生の学ぶ環境の充実のために試行錯誤して働いた時代は宝物です。そこに感謝する気持ちを、これから数年間、私も含めて役員と同窓生で意見交換しつつ、また、同窓生の皆様からの意見に耳を傾け、何らかの形で同窓生や東京医科大学にお返しできることを考えて頑張ります。

どうぞ宜しくお願いいたします。



役員就任

今後の同窓会の在り方

副会長
森(森田) 貴美 13 回生



私は毎年、13 回生 B クラスの幹事として、同窓会総会に出席していました。その中で役員の人たちからは、同窓会役員の負担が多く次ぎの人に引き継ぎたいが、後任が見つからない。という話を度々耳にしました。

役員会の活動予算はありますが、年5万と少額です。活動は基本ボランティアだからです。もちろん自分たちの同窓会の仕事ですから、ある程度のボランティアはあたりまえかも知れません。しかしボランティアなら自分がそろそろ次の人にバトンを渡したい！という時、すんなりバトンが渡せないのは問題です。

じつは、30 年前も私は同窓会役員をした事があります。その時の仕事内容は講演会を開いたり、東医祭でバザーをして活動費を集めたり、同窓会誌も作成、発送も幹事の人を力借りて行っていました。それでもあまり負担に感じなかったのは、普段は関わる事がない先輩たちと仕事をし、同窓会の仕事が終わると食事に行って色々な話をする事が楽しかったからだと思います。今はあの頃と比べ同窓生数も3倍以上になり、毎月集まっている(私の聞き違いならすみません)と聞き大変何だろうな！現在は働

き方改革が叫ばれている時代。そんなに大変なら、同窓会の仕事の在り方も考えてみればいいのになあ！

そんなことを考える中、30 年ぶりに再び役員への依頼がきました。本来ならもっと若い人たちに引き受けてもらいたい！というのが本音です。しかし若い人に引き継ぐ前に再度自分で役員を引き受け、出来るだけ仕事内容をスリム化し、頼まれた時、誰もが気軽に OK！と引き受けられる同窓会役員の仕事の在り方を考えよう。と思い今回役員を引き受ける事にしました。若い人たちと違いパソコンも苦手な私。どこまで出来るかわかりませんが、微力ながら頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



同窓会の役員になりました



副会長
金子(松村) 雅子 28 回生



会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度より同窓会副会長になりました金子と申します。卒業してから臨床を経て、現在は看護学校の専任講師をしております。学生に求められる看護の役割は、時代の背景とともに変化しており、現在の看護は地域とより連携をとり様々な場で働くこと

が出来る看護者を育成することだと思い、日々教育の場で頑張っております。

先日同窓会の総会があり、東京医科大学病院に数十年ぶりに訪れた時、とても懐かしく、また私が学生だった時、看護師としてここで育てていただいた思いを感じました。今回ご縁があり同窓会の役員となり、今まで同窓会が多くの方たちの力で活動が続けられ運営されていることを知りました。愛着のある母校自体は大学に変わってしまいましたが、卒業生の繋がりはまだあるのだと思いました。きっと皆様にも「紅苑」の広報誌を通じて伝わっていることと思います。まだ活動内容を把握することで精一杯で、同窓会をどのようにしたら、今後皆様に喜ばれるような会に出来るのか微力ながらお手伝いさせて頂けたらと思います。宜しくお願いいたします。

ご挨拶



会計監査
岡島(南雲)和子
5回生



同窓会の皆様 こんにちは
万年学年幹事の私が、この度会計監査をやらせていただくことになりました。
臨床から離れて23年ですが、予防的な立場から健康管理のお仕事をさせていただいております。これまで「患者の家族」として多くの病院と関わりがありました。
患者サイドからは、看護師さんとの接点が貴重で、看護師さんを頼る気持ちが大きいことを感じて

おります。

最近感動したのが、都下昭島市にある医療法人T会の病院でのことです。受付など事務系(会計はAIでびっくり)、検査部門、看護師、医師の、表情がイキイキしていること。治療に訪れている患者さんと家族の方も「ここはどこ？」と病院にいることを忘れてしまうくらい良い感じの雰囲気、これまでの医療機関と違って印象的でした。

病院案内のパンフレットに、「思いやり、共に働く人たちが、相手を思いやる環境をつくる」という病院の基本方針が、働く一人一人に行き届いているからかしら、と思いました。

東医大の「自主・自学」の精神と、共に働く人々への相手を思いやる意識があったら、どんな素敵なチームワークになるのかしら？と想像しワクワクしてきました。どうぞ宜しくお願い致します。

昇進

茨城医療センター 看護部長就任あいさつ



高城 由紀 18回生



御挨拶に先立ちまして、先ずは7月初旬に起こった未曾有の豪雨による災害で西日本の広い地域において、甚大な被害をもたらした同窓会員ならびに会員御家族様の中には被災された方も多くいらっしゃるのではないかと危惧しております。この場をお借りし心よりお見舞い申し上げます。

さて、私が石塚同窓会会長から就任のあいさつ文の寄稿依頼の連絡をいただいたのは、6月でしたのでまだまだ時間的余裕があると高を括っております。しかし、あっという間に入稿締め切りの本日8月31日となってしまう、慌てて机に向かい着手している次第です。というわけで、相変わらず時間に追われる毎日を過ごしております。ところで、同窓会の会員の皆様の中で茨城医療センターにお越しになった方はどれくらいいらっしゃるのでしょうか？そういう私も新宿で勤務して

いた34年間の中で3キャンパス合同看護研究会の時に3回程度来院したくらいで同じ法人の病院間でもなかなか足を運ぶ機会のない病院でした。そのような病院に平成30年3月1日に着任し、早6カ月が経過しました。茨城は言うまでもなく緑豊かで風光明媚な土地柄で、病院は急性期病床と地域包括ケア病床で許可病床501床の中規模病院です。また、同敷地内に訪問看護ステーションを保有しており、平成30年度からは統合実習(在宅)領域で念願の東京医科大学看護学科生の実習の受け入れを開始することができ大変嬉しく思っております(通所リハビリテーションは11月末日で閉所)。

新宿で副看護部長を7年間経験した後、今回、当センターの看護部長に就任いたしました。当然のことではありますが、職位が変わると職務内容も全く異なりその責任の重さを痛感している毎日です。ですが、周囲の医療スタッフに恵まれ多くのサポートを受け支えられながら、スローペースではありますが何とかその任務を果たしております。超高齢化の波に乗っているここ茨城で看護を通じて少しでも地域貢献できるよう職務を遂行していきたいと思っています。もし、卒業生の方で茨城医療センターの近隣に未就業で看護職への復帰意欲のある方がいらっしゃいましたらご一報いただければ幸いです。

ご挨拶



金田 博美 13回生



同窓生のみなさま、こんにちは。卒業して現在40年目が終わろうとしています。「継続は力なり」と言いますが、平成30年4月看護部副看護部長の命を拝命しました。担当は当初、「病床管理」でしたが、現在は平成29年から導入した「PFM (Patient Flow Management: 入退院マネジメント)」を引継ぎ、多職種と協働できるよう日々奮闘しています。

卒業後、病棟のみで看護活動してきましたが、ここに来て病院内を横断的に把握し、また地域の

方との関わりも深くなりつつあります。私にとっては新たな分野ですので大変新鮮でもあります。超急性期の病院を目指し、スムーズに地域から病院、そして地域へ繋げられるよう経験ある方々に助けて頂いている毎日です。

私達13回生は、一昨年還暦を迎えお祝いを込めて東京で同窓会を行いました。還暦と言う節目で、30名近くと多くの方が集まり、楽しい時間でした。定年を迎えた方も多く、第2の人生を謳歌している人、働き方を変えての現役の人、其々が各分野で輝いていて新たなエネルギーを頂きました。13回生遅いですが。

最後に病院情報です。昨年来の出来事にご心配をおかけしていると思います。今年病院は、7月新病院として生まれ変わります。3月には引き渡されあらゆる準備が始まります。新病院への期待を胸に患者さんが満足される病院、選ばれる病院となれるようこれからも頑張っていきたいと思えます。これからも宜しくお願いいたします。



25回生の皆さま お元気ですか？



宮崎 留美子 25回生



25回生の皆さまお元気ですか？ご無沙汰しております。1991年に卒業し、はや28年目となります。私は卒業して東京医科大学病院に就職後5回の異動を経て、2018年2月より副看護部長として看護部で勤務しています。2011年には摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得し、病棟での看護のみならず嚥下外来やNST (Nutrition Support Team 栄養サポートチーム) の一員として院内で

横断的な活動を行ってきました。2013年に看護師長となってからも周囲の温かい理解と協力を得て、病棟管理業務と同時に専門的看護の実践者として努めてくることができました。今回、副看護部長の任を拝命にあたり、責任の重圧と摂食・嚥下障害認定看護師としての活動が継続できなくなることへの不安で大変悩みました。しかし、新しい管理業務の傍ら、認定看護師としての活動を継続する機会も得ることができ忙しさを楽しんでいます。私が先輩方に支えられたように、多くのスタッフが看護の楽しさを実感し、成長できるよう取り組んでいきたいと強く感じています。プライベートは、年老いた母と愛犬との生活の中で些細なことを楽しむ日々を送っています。皆様とお会いできる日を楽しみにし、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。



ご挨拶

大島 久美 30回生



30回生の皆さま、お元気でしょうか。私は4月より産科病棟の師長になりました。ここ2年主任として病棟管理を担っていたので、病棟における管理業務に関しては変化なく遂行できました。しかし師長として立場が変化することで、周囲か



ら受ける反応は変化したと実感し、改めて気持ちを引き締める必要性を強く感じました。直接的に助産業務を遂行する機会は減り、寂しい気持ちもありますが、今は管理者として妊産婦に向き合い、希望するバースプラン（お産の計画・要望）に添えるようスタッフと協働しています。来年には周

産期センターとして産科病棟も拡大していきます。新病院に向けての準備は大変ですが、妊産婦が「東京医大で出産できて満足」と思って退院して頂けるよう、新しい一歩へ向け準備していきます！

みなさん、ぜひいらしてください。

支え・支えられて



石田 恭子 28回生



同窓会の皆さまこんにちは。この度師長の任を頂き、大変光栄に思っております。と同時に、これまでにない責任の重さに、毎日が身の引き締まる思いでいっぱいです。

私にとっては何でもできる存在であった師長ですが、果たして自分はどうでしょうか。まだまだ視野が狭く、浅はかな考えであると思い知らされるばかりで、理想にはほど遠いのです。新しい一歩を踏み出すには楽しさと怖さがつきもので、新人やリーダーの独り立ちの時の懐かしい感覚が今

再び甦っています。その様な中改めて強く感じたことがあります。見守ってくれる、助けてくれる人の存在の大切さです。的確な指摘の中に安心する言葉をくれる先輩方、どんなことも受け入れてくれる同期、協力してくれる同僚。この環境があるからこそ目標達成に向けて意欲が湧き、様々なことを乗り越えられるのだと思っています。そして、スタッフにこのことを伝え感じられるようにすることこそが、自分の大切な役割なのだと考えています。看護師になった理由は？どんな看護師になりたい？この原点を、常に自分にもスタッフにも問い続けていこうと思います。

新病院は日に日に完成しています。患者様、スタッフ共に夢のある場所になることを祈るばかりです。このタイミングで師長となった責任をもち、素敵な病棟・病院の現実努力する所存です。今後とも御指導、御協力を頂きますようよろしくお願い致します。

2019年度 第36回定例幹事会開催のお知らせ

下記の日時に幹事会を企画しております。幹事の皆様方にはご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席いただければ幸いです。新病院見学も現在申請中です。病院見学と幹事会の後は、懇親会（無料）を開きます。

記

日時・場所：2019年6月1日（土）

東京医科大学病院6階カフェテラスに13:20集合

※新病院見学を先に予定しております。13:20にカフェテラスから新病院に移動しますので、時間厳守でご集合ください。

※幹事会と懇親会の場所は、東京医科大学病院6階カフェテラスです。

予 定：1. 新病院見学（申請許可された場合）

2. 幹事会（議題：活動報告、会計報告、ホームページ変更・開設、新病院開院に向けての記念品贈呈について他）

3. 懇親会

同窓会幹事の方は、同封のハガキ（幹事の方のみ同封）を5月10日迄に投函お願いします。

お問合せ先：内田幸子 メールアドレス hh130335-4539@tb.g.t-com.ne.jp

近況報告

まつしま病院の紹介

伊藤 千佳子 12回生



12回生の皆さん。お元気ですか？

私たち12回生が看護学校を卒業して早いもので40年が過ぎ、なんと60歳の大台を超えました!!今さらながら過ぎ去った年月の長さに驚いています。

私は看護学校を卒業後、東京医科大学病院南5階外科病棟に7年間勤務し夫の転勤で函館へ。

函館の自然を満喫して再び東京へ戻り、東京医科大学病院の内科外来で勤務。その後少し暇な専業主婦をしていたところ、同級生の小竹久美子さん(2014年4月逝去)に誘われ、1997年2月から「まつしま病院」に勤務し現在に至っています。

まつしま病院は、東京都江戸川区にある37床の産婦人科・小児科病院です。

まつしま病院の理念は、「女性と子どもにやさしい病院作りを目指す」です。女性と子どもの健康に役立つ医療を幅広く提供していきたいと考え、産婦人科・小児科だけでなく、乳腺外来・漢方外来、そして心療内科・精神科も併設し、「からだ」だけでなく「心」の面もサポート出来るようにし

ています。

ここ10年間で妊産婦を取り巻く環境や社会状況も大きく変化しています。出産年齢の上昇や社会的背景にリスクのある人が増え、妊娠中から出産、そして退院後の育児や日常生活のサポートが必要な利用者が多い現状です。そのような状況の中、まつしま病院では、助産師、看護師、産婦人科医師、小児科医師、精神科・心療内科医師、MSWが協力して、妊産婦と子どもたちのサポートを行っています。妊娠・出産というライフイベントをきっかけにし、これからの生活を共に考え、その人らしい育児を支えることで、児童虐待予防の一助になればとの思いで、まつしま病院のスタッフは日々活動をしています。

私はまつしま病院で、小竹久美子さんの後を引き継いで理事・看護師長として働いています。

現在「ネット予約システム」と「電子カルテ」の導入で、SEさんが話す専門用語がなかなか理解できない中、PCと向き合い61歳の頭をフルに回転させて頑張っているところです。

病院を創設した「佐々木静子先生」の想いで、職員は全て「対等」との考えが浸透しているため医師も看護部も事務部もコミュニケーションが取れて、とても働きやすい職場です。

ご興味がありましたらぜひ病院見学にいらしてください。



12回生還暦同窓会 2017年3月19日京王プラザホテル (前列左から3人目が本人、前列中央は吉岡敏子先生)

開業助産師からのメッセージ

富岡 (白井) ほなみ 21回生



6月初旬にもかかわらず初夏を感じさせるような晩に、恩師石塚睦子先生より原稿依頼をいただき、懐かしさのあまり一つ返事でお受けしてしまいました。卒業から32年。学生時代を思い返しても、今となっては辛かったこともすっかり忘れ、扇山ハイツの金木犀の香りが、疲れを癒してくれたことが思い返されます。

私の学生生活のピリオドは、卒業式で答辞を読んだこと。その後ろで皆が豪快に泣いている大きな写真は今も実家に飾ってあります。そして石塚先生の後押しで卒論を「月刊ナーシング」に投稿したことです。

助産師となり東医9東病棟で3年間勤務させていただき、結婚を機に静岡の地に戻ってまいりました。その後は医療から少し距離をおき法学部で勉強したり、エアロビクスのインストラクターをしたり、そして思いがけず不妊??で体外受精も経験しましたが、いつの間にか3人息子の母となり助産師も復活していました。13年間の勤務助産師を経て、平成13年に母乳育児指導主体の助産院「とみおか母乳ケアhouse」を開業し、訪れる母子と母性実習の学生さんからパワーをいただき元気に過ごしております。

そして更なる躍進(?)は一昨年。末息子が大学生となり巣立っていったのを機に、私の助産師

としての第二の人生が始まりました。平成28年は「大学院受験」と「アドバンス助産師取得」のために、人生で最高に勉強した年でした。現在は浜松医大大学院にて、1000例を目標に「直接授乳困難な母親」の研究に励んでおります。大学院では素晴らしい指導者に会い、助産院でも心強いスタッフに恵まれ、夫の理解に甘えながら、幸せな助産師生活です。とは言え、体力・視力・暗記力の衰えに加え、物忘れも如実ですが、避けて通れない自然現象です。

東医で出会った皆様に感謝！ お読みになっておりましたら、ふと懐かしさを思い返していただければ幸いです♡ Going my way



7ヶ月のBabyを抱っこしながら施術中

近況報告

阿川 (室岡) 香苗 31回生



同窓生の皆さまご無沙汰しています。今回、このような機会を頂きましたので、事後報告も含めて近況報告をさせていただきます。

まず初めに、振り返れば20年とちょっと前、看護学校卒業後、私は東京医科大学病院で精神神経科に配属され、そこで人生の師と仰ぐ師長さんや先輩方に会いました。なんとなく希望の精神科

に配属されたものの、憧れだけで看護師になりしっかりとした動機も目標も無かった私ですが、自分で言うのもなんですが、本当に“人との出会い”には恵まれ成長できた職場でした。ここでの出会いがなかったら看護という仕事の魅力を知らないまますぐに辞めていただろうと本気で思っています。

最初の職場でとても恵まれていた私ですが、30歳を目前にしてかねてから漠然と思いついていた国際協力活動に参加するべくまずは語学留学をし、そして国境なき医師団に参加してジョージアという国に行ってきました。また帰国後には大学に編入して国際政治を専攻し、在学中にはWHO

(世界保健機関)のインターンでスイスのジュネーブに行ってきました。(この件で、ご興味ある方は是非ご連絡下さい。伝手アリマス。)

そして、現在は八王子医療センターの隣にある八王子市立看護専門学校で教員をしています。最初の職場で先輩方にして頂いたように、私も学生に看護の仕事の魅力を伝えたいと思い、特に精神領域になると熱く語ってしまいます。また、入学式、戴帽式、卒業式に教員として出席し、皆立派な看護師になってほしいと心から願う自分に気付き「親の心子知らず」ちょっと違いますが、今になって恩師の先生方の気持ちを察することができました。今更ながらですがお会いしてお礼を申し上げる機会があれば、、、あっ、八看で微生物の小池先生に会いお礼を言うことができました。同窓生の皆さん、小池先生はお元気で今日のジョークも冴えてま〜す。



32回生扇山同級会やってます

蓮池(入澤)佐江 32回生



同窓生の皆様、32回生の皆様いかがお過ごしでしょうか？私は故郷の新潟県柏崎市の国立病院機構の病院で働いています。この病院は、筋ジストロフィーや、ALSをはじめとする神経難病の患者様中心の病院です。

子供たちが大きくなったのを機にそれまで勤めていた社会福祉協議会を辞め「もう一度病院勤めを！！」と意を決しての転職でした。覚悟はしていたものの、12年振りの病院勤務、慣れない電子カルテ、神経難病という初めての分野・・・全てに戸惑いの日々でした。

そんな私を支えてくれたのは、家族そして32回生の扇山ハイツの同級生でした。「扇山同級会」と名うって年1回新宿で同級会を開催しています。現役で看護師をしている人、美容医療をやっている人、子育て真っ最中の人、医療以外の仕事をしている人と境遇は様々ですが、会えば一瞬で扇山ハイツ時代に戻ります。寮生のみ知る秘密の「門越え」、「寮母スペシャル(風邪をひいた時だけ食べられる寮母さんのご飯)」、テスト前に図書室を占領して勉強した事など思い出話は尽きません。

いつも感じる事は、あの頃の私たちが今の私たちをつくっているのだなあという事、今は遠く離れているけれど、皆がそれぞれの場所で頑張っているから自分も頑張れるのだという事です。私にとって仲間と過ごす年1回の同級会は1年分のエネルギーをチャージする場になっています。同級会には子連れで参加してくれる仲間もいます。子供の中には「お母さんのような看護師になりたい」と言ってくれる子もおり、更に元気をもらっています。今は寮生だけの同級会ですが、今後は32回生に広げていけたら嬉しいです。

最後になりましたが、来年度には新病院が完成すると伺いました。皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。



後列左から2人目が本人

看護学生近況

東京医科大学病院での
臨地実習を通して看護学科第3期生
石井 里奈 (4年生)

東京医科大学に入学して4年目をむかえ、看護師として働くということをより現実的に考えるようになってきました。4年生となり病院実習をすべて終えた今、これまでの実習を振り返ってみると、東京医科大学病院で多くのことを学ばせていただいたと感じます。

1年生の初めての実習のときは「看護」というものが何かも分からず、自分が選択した道は本当に正しかったのだろうかと自問自答する毎日でした。看護師として何がやりたいのか答えが出ないまま実習を行っていたときは悩むことも多く、看

護師として働けないかもしれないということもありました。しかし、実際に患者さんを受け持たせていただき、自分で看護を考え展開していくうちに、患者さんと真摯に向き合い、患者さんが何を必要としているのかを考えれば、学生の私であってもできることがあるのだと実感する場面が何度もありました。そして、「看護」というものが少しずつ分かるようになり、どのような状態の患者さんであっても看護を提供することができるという部分に看護の魅力を感じるようにもなりました。

東京医科大学病院での実習は、大変なことも多く、悩みながらの実習となることも多々ありましたが、それと同時に先生や指導者さん、そして何より患者さんからたくさんのことを学ばせていただき、大きく成長することができた場でもありました。

私たちは来年の4月から看護師としてのスタートを切ります。不安なこともたくさんありますが、東京医科大学病院で学んだことを忘れずに、そして看護を目指したそのころを忘れずに、看護師として日々努力を重ねていきたいと思えます。

看護初期実習を通じて

看護学科第6期生
平田 美樹 (1年生)

看護学生になりはや3か月という時期に、東京医科大学病院で看護初期実習と臨地実習をさせていただいた。看護とは何か、という初歩中の初歩を学んでいる真っ只中の私たちではあるが、実際に患者と関わり、看護師の行う看護を見学しシャドウイングさせてもらった。実習中、座学で学んだことが生かされる場面がたくさんあった。ナイチンゲールの看護の定義やヘンダーソンの14の基本的欲求は、話を聞いているだけではあまりぱっとしない。しかし、患者のしぐさや言動、そして自ら体験することで学んだことが具体的になり、より自分の中での理解を深めることができた。

実習中、毎日グループでカンファレンスを行った。毎回カンファレンスの内容は異なり、病棟の役割や、看護師の役割と機能、患者と看護師のコミュニケーションの在り方などを考えた。実習中に担当してくださった看護師の姿を見て、様々な患者がいると同様に、様々な看護師がいる。と知ることができた。自分だったらこうする、自分が患者ならこうされたくない、と思うようになりより自分の行いたい看護について考えることができた。

これからの学習や実習を通して、自分のなりたい看護師像をより具体的にして、たくさんのことを学んでいきたいと思う。看護師になるための日々の勉強は怠らず、同じ看護学科の仲間たちと切磋琢磨し刺激しあいたい。



会計報告

2017年度 東京医科大学看護専門学校同窓会 決算報告

(2017年5月1日～2018年4月30日)

△はマイナスの値を表す

収入

支出

Table with 2 columns: 収入項目, 金額. Includes items like 同窓会寄付金, 2期生終身会費, etc.

Table with 5 columns: 項目, 予算, 支出, 差額. Includes items like 本部会費, 同窓会便り, etc.

2016年度繰越金 + 収入 - 決算 = 2018年度への繰越金
3,477,857 + 1,351,690 - 1,164,262 = 3,665,285

2018年度 東京医科大学看護専門学校同窓会 予算案

(2018年5月1日～2019年4月30日)

収入

支出

Table with 2 columns: 項目, 予算. Includes items like 3期生終身会費, 2017年度繰越金, etc.

Table with 3 columns: 項目, 予算. Includes items like 本部会費, 同窓会便り, etc.

* 会報に寄付振込用紙を配布し、一律2000円の寄附を募る

以上、消費税8%で計算 消費税増税時は変更を行う

2017年5月1日～2018年4月30日

寄付者 ~ご協力ありがとうございました~

Large table listing donors with columns for name, amount, and department. Includes names like 上高千鶴香, 塩家智津子, etc.

学↓医学部看護学科
看↓本科・看護科
進↓進学科
別↓別科

同封物の見方



1 あなたの整理番号です。

2 現在、同窓会でお預かりしているあなたの情報です。

変更のある方はいずれかをご利用下さい。

- ①フリーダイヤル
- ②フリーFAX
- ③QRコード(携帯電話)

3 現在、住所が判らず会報誌がお届けできない同期の方々です。ご存じの方は、フリーダイヤルかフリーFAXでご本人よりご連絡いただくようお願い下さい。

4 同窓会協力金の振り込み用紙です。ご協力をお願いします。

同窓会協力金の振込用紙です。ご協力をお願いします。



∞ 編集後記 ∞

同窓生の皆様や大学広報様にご協力頂き、無事発刊することが出来、ありがとうございました。

寒暖差の激しいこの冬、乾燥も要注意でした。

今後も読んでしっとりできる会報になれるように頑張りたいと思います。投稿募集します。(S. U)

・同窓会協力金募集・

1口2,000円のご協力をお願いします

同窓会の運営費は毎年卒業時に終身会費として頂くことによって賄われますが、年々会員は増大し4,000人を超えています。会報費、通信費などの運営費用の捻出に、苦慮しているのが現状です。

是非とも協力金をお願いいたします。

住所変更は2つの方法で

個人情報保護に配慮し、プライバシーマーク認証業者の株式会社同窓会事務局へ会員情報の管理、会報発行を委託しました。

それに伴い、同窓会事務局専用の受付電話・FAXが開設されています。

住所が変わられた方は、下記の方法でお知らせ下さい。

お問い合わせ(住所変更等もこちらへ)

ダイヤル 0120-10-9899 (内線124) 平日 10:00 ~ 17:00

FAX 0120-10-9184 (終日受付)

